

経営比較分析表（令和5年度決算）

京都府福知山市 福知山市民病院 大江分院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	3	-	訓	救へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
75,385	3,240	第2種該当	-	13:1

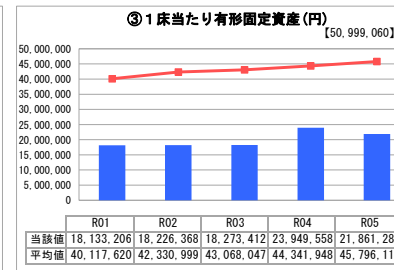
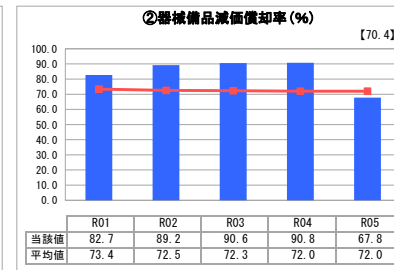
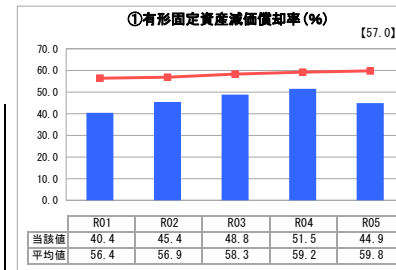
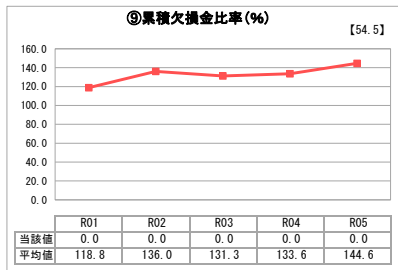
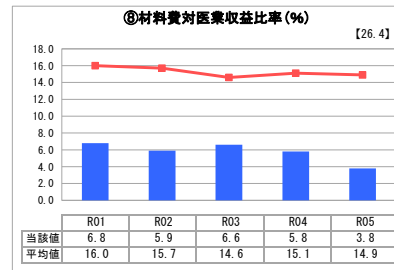
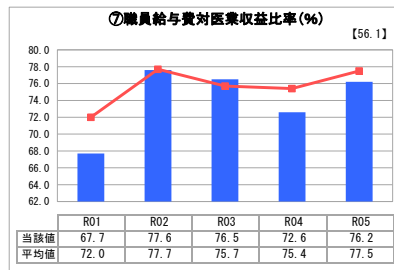
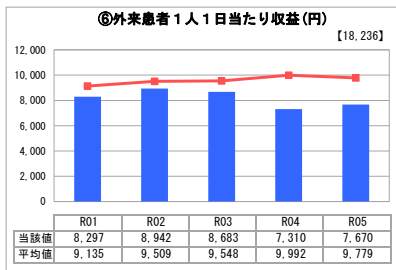
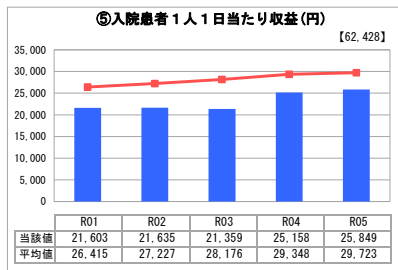
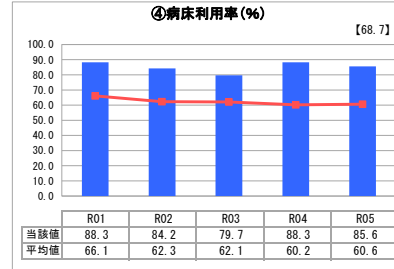
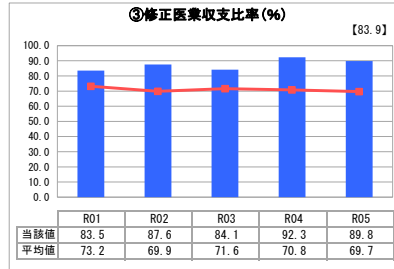
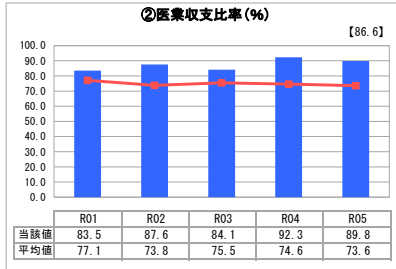
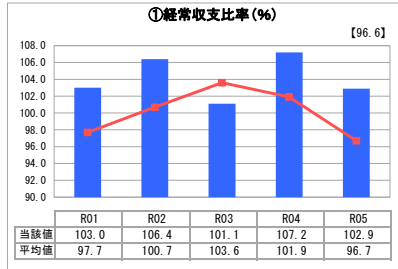
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
-	52	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	52
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	52	52

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の両輪・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

大江分院は、市の国保新大江病院を平成27年4月から市立福知山市民病院の分院として開院した。開院後は福知山市民病院本院と連携するとともに、地域に根付いた住民の医療拠点として、訪問診療や訪問看護などの在宅医療の充実に努めている。さらに、本院と連携し将来地域の医療を担う家庭医を目指す総合診療医の養成施設としての役割を果たしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医業収支は100%を下回り、厳しい経営状況であるが、不採算病院等の基準に基づく一般会計からの繰入により、経常収支では黒字を計上している。
患者数は減少したが、診療単価が上昇したことにより、医業収益は前年度比99.0%を確保できた。支出については給与費や医療情報システムの更新に伴う除却費が増額となったが、今年度も当期純利益を計上した。
なお、療養病床が全体の5割以上を占めるため入院診療単価は平均値を下回っている。医業収益に対する材料費は減少し平均値を大幅に下回っている。

2. 老朽化の状況について

器械備品の減価償却率は令和元年度から平均値を上回っていたが、令和5年度において、医療情報システム等の高額機器を更新したことにより、有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は前年度より減少し、器械備品の減価償却率は平均値を下回っている。
回復期、慢性期を中心とした医療を提供するため、高額な手術機器や検査機器等への設備投資がないため、1床当たりの有形固定資産は平均値を大きく下回っている。

全体総括

大江分院は福知山市民病院本院と連携をとりながら住民の一般診療、救急医療、在宅医療などを担っている。人口減少等により患者数が減少しており厳しい経営状況ではあるが、不採算病院等の一般会計繰入により黒字経営を維持している。
令和4年度から、人口減少と高齢化が進む当地域の医療ニーズに合わせ病床機能の見直しを図り、一般病床を地域包括ケア病床に転換している。高度急性期、急性期病院の後方支援病院としての役割を果たすとともに、引き続き訪問診療や訪問看護などの在宅医療を提供し、地域の実情に合わせた病院機能や病床機能などを維持しつつ、効率的な事業運営していく必要がある。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。